

施策評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	076	農地の保全、府中産農産物の流通拡大と担い手の育成				
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）			担当部署課名	生活環境部 経済観光課
	基本施策	06	都市農業の育成			
めざす姿	農業者は地域に開いた農業活動を展開し、市民は積極的に農業に関するボランティア活動に参加していきます。これにより、生産活動以外も含めた農業の多面的機能が活用され、市内の農地が保全されています。また、安全で新鮮な農産物が直売所等に出荷され、多くの市民がその農産物を消費しています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	50,241,000	70,121,000	64,237,000	66,903,000	63,177,000	
国庫支出金	0	0	0	0	0	
都支出金	0	21,273,000	18,645,000	22,065,000	20,323,000	
市債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	50,241,000	48,848,000	45,592,000	44,838,000	42,854,000	
予算現額	50,244,000	102,032,068	101,991,932	73,731,000	0	
決算額	47,807,189	88,780,002	95,656,299	65,745,545	0	
国庫支出金	0	0	2,000,000	0	0	
都支出金	0	38,675,511	44,704,959	22,431,225	0	
市債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	47,807,189	50,104,491	48,951,340	43,314,320	0	
執行率	95.2	87.0	93.8	89.2	0.0	
(人件費)						
職員数	4.81	5.05	3.97	3.91	0.00	
職員人件費	38,443,290	38,449,463	30,931,235	30,468,687	0	
嘱託員数	0.00	0.00	1.00	0.98	0.00	
嘱託員人件費	0	0	3,269,483	3,153,304	0	
(間接経費)						
間接経費	288,212	397,151	459,483	386,998	0	
総コスト	86,538,691	127,626,616	130,316,500	99,754,534	0	

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
生産緑地の面積	105.6	実績	100.97	100.56	100.14	-	92.3
	ha	達成率	109.4	108.9	108.5	0.0	
認定農業者数	96	実績	109	112	126	-	105
	人	達成率	103.8	106.7	120.0	0.0	
直売所等へ出荷している農家の割合	51	実績	-	-	49.7	-	58
	%	達成率	0.0	0.0	85.7	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

生産緑地は相続に伴い減少傾向にある。認定農業者については、共同申請による家族の認定を奨励していることで増加傾向にある。販売農家の割合は5年に1度の農業センサスの結果を基礎としているが前回調査結果と比べて減少しており、農地や農業者が減少する中で、まずは現状維持を目指すことが現実的である。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	
達成できている点	今後の施策を進めるための第3次農業振興計画を策定した。各種補助事業を展開し、農業者の経営向上が順調に進んでいる。	第3次農業振興計画に基づき各種補助事業等を展開し、農地の保全と農業者の経営向上を図ることができた。	第3次農業振興計画に基づき各種補助事業等を展開し、農地の保全と農業者の経営向上を図ることができた。	
達成できていない点	農業委員会委員の改選のタイミングもあり、地域座談会の開催を見送ったため、次年度での開催を進める。	農地の保全のための各種事業を展開しているが、相続の関係により農地は減少している。	農地の保全のための各種事業を展開しているが、相続の関係により農地は減少している。	

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>都市農地には、農産物を生産する以外にも多面的な役割があり、市街化区域の都市空間には必要不可欠なものである。都市農地を保全し、次世代に継承するためには、魅力ある農業施策を推進するとともに、農業後継者を育成することが重要である。市ではこのことを踏まえ、さまざまな側面から市内の農家を支援してきており、農業者の営農意欲を向上させて農地の保全に寄与してきた。</p> <p>農産物の直売所を示したマップを作成し、市内の庭先直売所や共同直売所の周知に努めた。</p> <p>府中の特産品に関しては、生椎茸や黒米、黒米うどん等が、府中観光協会の推奨品として認定を受けている。</p> <p>地場産農産物の人気の高まりを背景に、市内のスーパーマーケットなどでも農産物直売所を設置する店舗が増えてきた。</p> <p>また、体験農園の整備について、補助金を交付することで、農業者の市民への農産物の提供の一助とするとともに、農業とのふれあいの場の創出を支援した。</p> <p>農業生産団体に対し、生産資材・出荷資材等の共同購入に係る経費を補助し、府中産農産物の流通を図った。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>一度、他の用途に転用された農地は、再び農地に戻ることはほとんどない。今後も限られた農地を保全していくため、また農業者にとって魅力ある農業施策をさらに推進していく必要がある。</p> <p>現在、府中特産品直売所については平成30年度に現在の府中駅北第2庁舎からグリーンプラザ分館への移転が予定されている。移転を契機として運営の見直しを図っていく必要がある。</p> <p>西府用水取水施設については、平成17年度に国から移管され10年余が経過し、設備の経年劣化が指摘されている。将来に渡って当該施設を適切に保全していくため、点検・整備等の対応が必要不可欠な状況である。</p>
今後の展開
<p>認定農業者への支援や直売所などの支援を充実させ、農業経営を振興させることにより、農業者の農地の保全をできる限り図りたい。</p> <p>府中特産品直売所については平成30年度の移転を契機として、同フロアのテナントとなる社会福祉協議会の授産製品のショップ及び喫茶店との提携や土日の営業の開始について関係者に働きかけていく。</p> <p>西府用水取水施設については、取水ポンプのオーバーホールや制御盤の更新など、順次対応していく。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
農業委員会運営事業	▼総会を開催し、農地法等に基づく申請等を審議する。 ▼農地パトロールを実施し、農地の適切な肥培管理を指導する。 ▼地域座談会の開催や農業委員会だよりの発行により、農業振興の啓発を行う。	▼総会を開催し、農地法等に基づく申請等を審議する。 ▼農地パトロールを実施し、農地の適切な肥培管理を指導する。 ▼地域座談会の開催や農業委員会だよりの発行により、農業振興の啓発を行う。	▼総会を開催し、農地法等に基づく申請等を審議する。 ▼農地パトロールを実施し、農地の適切な肥培管理を指導する。 ▼地域座談会の開催や農業委員会だよりの発行により、農業振興の啓発を行う。	▼総会を開催し、農地法等に基づく申請等を審議する。 ▼農地パトロールを実施し、農地の適切な肥培管理を指導する。 ▼地域座談会の開催や農業委員会だよりの発行により、農業振興の啓発を行う。
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
農業委員会事務局	▼総会を13回開催し、農地法に基づく審議ができた。 ▼農地パトロールを実施し、不適切な農地を指導するなど、適切な農地管理を推進した。	▼総会を12回開催し、農地法に基づく審議ができた。 ▼農地パトロールを実施し、不適切な農地を指導するなど、適切な農地管理を推進した。	▼総会を12回開催し、農地法に基づく審議ができた。 ▼農地パトロールを実施し、不適切な農地を指導するなど、適切な農地管理を推進した。	
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	58,000			
農業者支援事業	▼次期農業振興計画を策定する。 ▼農業経営改善計画の認定を進め、認定農業者の人数を上げる。 ▼ハウス等の施設の設置や農業用機械の購入事業に対し補助することで、農業者の経営改善や向上を図る。 ▼農作物加害獣の駆除を進める。	▼農業経営改善計画の認定を進め、認定農業者の人数を上げる。 ▼ハウス等の施設の設置や農業用機械の購入事業に対し補助することで、農業者の経営改善や向上を図る。 ▼農作物加害獣の駆除を進める。	▼農業経営改善計画の認定を進め、認定農業者の人数を上げる。 ▼ハウス等の施設の設置や農業用機械の購入事業に対し補助することで、農業者の経営改善や向上を図る。 ▼農作物加害獣の駆除を進める。	▼農業経営改善計画の認定を進め、認定農業者の人数を上げる。 ▼ハウス等の施設の設置や農業用機械の購入事業に対し補助することで、農業者の経営改善や向上を図る。 ▼農作物加害獣の駆除を進める。
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
生活環境部 経済観光課	▼市民の参画も得ながら第3次農業振興計画を策定した。	▼共同申請を勧めることで、認定農業者の人数を増やすことができた。	▼共同申請を勧めることで、認定農業者の人数を増やすことができた。	
事業種別	▼共同申請を勧めることで、認定農業者の人数を増やすことができた。	▼施設設置等へ補助することで農業者の経営向上、経営改善を図ることができた。	▼施設設置等へ補助することで農業者の経営向上、経営改善を図ることができた。	
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	59,980			
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H28年度		H29年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 農業委員会運営事業	20		14,715,000	14,441,985	14,988,000	農業委員会の運営	B	1
2 負担金 東京都農業会議	10		435,000	434,400	458,000	東京都農業会議への賛助員拠出金を支出する。	B	1
3 農業協力委員活動事業	30		3,024,000	2,916,000	3,024,000	市と農家の橋渡しとして、市が行う農業行政の周知や農家の情報を市に報告する。	B	3
4 負担金 都市農地保全推進自治体協議会	30		20,000	20,000	20,000	都市農地保全推進自治体協議会への運営負担金の支出	B	1
5 灌漑用水対策事業	30		7,170,000	6,963,900	4,483,000	用水組合に対し、揚水ポンプ稼働に係る電気料、取水施設改修に係る経費を補助する。	B	1
6 農業者支援事業	20		31,389,000	32,611,160	30,562,000	農業者に対し経営向上のための補助をするとともに、認定農業者制度や獣害対策を実施する。	A	
7 循環型農業支援事業	30		1,865,000	365,800	1,770,000	農業者への堆肥・緑肥の配布	B	1
8 農産物特産化事業	30		227,000	210,600	216,000	農産物直売所マップの作成、うね売り幹旋事業による地場産農作物のPR	B	1
9 農業生産団体育成事業	30		6,138,000	6,138,000	5,832,000	農業生産団体の種苗類や生産出荷資材の共同購入事業への補助金交付	B	1
10 地産地消推進事業	30		1,920,000	1,643,700	1,824,000	地産地消を推進するための事業に対する補助金の支出	B	1
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			66,903,000	65,745,545	63,177,000			

施策評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	077	農業とふれあう機会の拡充				
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）			主担当部課名	生活環境部 経済観光課
	基本施策	06	都市農業の育成			
めざす姿	農業の多面的機能の一つとしてのコミュニティ機能が活用され、市民が農業とふれあい、積極的に農業と関わる生活を送っています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	13,006,000	12,937,000	13,336,000	20,488,000	12,687,000	
国庫支出金	0	0	0	0	0	
都支出金	0	0	486,000	4,194,000	604,000	
市債	0	0	0	0	0	
その他	3,569,000	5,572,000	7,246,000	7,269,000	6,981,000	
一般財源	9,437,000	7,365,000	5,604,000	9,025,000	5,102,000	
予算現額	13,181,000	12,931,000	13,268,000	20,466,000	0	
決算額	11,409,216	12,231,206	12,781,483	16,666,258	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	
都支出金	1,000,000	507,000	615,000	3,237,000	0	
市債	0	0	0	0	0	
その他	2,988,400	5,317,800	6,752,527	6,289,245	0	
一般財源	7,420,816	6,406,406	5,413,956	7,140,013	0	
執行率	86.6	94.6	96.3	81.4	0.0	
(人件費)						
職員数	1.57	2.00	2.13	2.19	0.00	
職員人件費	12,548,018	15,227,510	16,595,348	17,065,582	0	
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	
嘱託員人件費	0	0	0	64,353	0	
(間接経費)						
間接経費	184,460	151,034	384,765	345,705	0	
総コスト	24,141,694	27,609,750	29,761,596	34,141,898	0	

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
市内に開設された市民農園の区画数	1,948	実績	1,559	1,480	1,372	-	2,000
	区画	達成率	78.0	74.0	68.6	0.0	
農業体験を取り組んでいる小学校数	14	実績	15	15	15	-	20
	校	達成率	75.0	75.0	75.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

市民農園については、土地所有者の高齢化に伴い、相続等により農地を返還せざるを得ない状況にあり、減少傾向で推移してきている。学童農園については前年度と同数にて推移した。当該実績値は市の事業として農業体験を実施している小学校数としているが、市を介さず独自で農業体験を実施している小学校もあるため、実績値の捉え方について後期基本計画では見直しを行う。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	
達成できている点	イベントとしての農業まつりや、体験講座としての市民農業大学や親子ふれあい農園を予定どおり開催し、市民が農業とふれあう機会の提供が順調に進んでいる。	イベントとしての農業まつりや、体験講座としての市民農業大学や親子ふれあい農園を予定どおり開催し、市民が農業とふれあう機会の提供が順調に進んでいる。	イベントとしての農業まつりや、体験講座としての市民農業大学や親子ふれあい農園を予定どおり開催し、市民が農業とふれあう機会の提供が順調に進んでいるほか、新たに農業公園の整備に向けた取組に着手した。	
達成できていない点	市民農園に関して、土地所有者の高齢化に伴い、相続等により農地を返還せざるを得ない状況にあり、区画数の維持が厳しい状況となっている。	市民農園に関して、土地所有者の高齢化に伴い、相続等により農地を返還せざるを得ない状況にあり、区画数の維持が厳しい状況となっている。	市民農園に関して、土地所有者の高齢化に伴い、相続等により農地を返還せざるを得ない状況にあり、区画数の維持が厳しい状況となっている。	

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

農業まつりや各種農業体験事業を通じて、市民が農業にふれることにより、農業に対する意識が醸成され、都市農業に対する理解増進と健康でゆとりのある生活の涵養に寄与した。
また、市民農園維持管理事業では、野菜作りをとおして自然と接し、健康でゆとりのある生活が送れるよう市民農園の維持管理を行ったほか、巡回指導を含む栽培指導を実施した。
平成28年度には、市民と農業とのふれあいを推進する新たな取組として、農業公園の整備を進めることとし、その基本的な方針等を定める「府中市農業公園整備に係る基本方針」の検討を行った。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

各事業の参加者にはリピーターも少なからずいるので、過去に農業にふれたことがない方や関心を持たない方などに対して積極的に参加を促したが、実施場所（農地）の確保が難しくなっている。
市民農園については、一定の市民ニーズはあるが、地域的な偏りがあるため、空き区画も見受けられる。土地所有者の高齢化が進んでおり、用地の維持・確保が課題となっている。

今後の展開

都市農業について広く市民の理解を得るとともに、地域に根差した都市農業を推進するため、市民が農業とふれあう機会を拡充することとし、農業公園の整備に向けた取り組みを更に進めていく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
農業まつり運営事業	▼市民と農業者とのふれあいの場として農業まつりを開催する。 ▼各種農産物の品評会を開催し、農業者の生産意欲の向上と、市民の農産物のPRを行う。	▼市民と農業者とのふれあいの場として農業まつりを開催する。 ▼各種農産物の品評会を開催し、農業者の生産意欲の向上と、市民の農産物のPRを行う。	▼市民と農業者とのふれあいの場として農業まつりを開催する。 ▼各種農産物の品評会を開催し、農業者の生産意欲の向上と、市民の農産物のPRを行う。	▼市民と農業者とのふれあいの場として農業まつりを開催する。 ▼各種農産物の品評会を開催し、農業者の生産意欲の向上と、市民の農産物のPRを行う。
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
生活環境部 経済観光課	▼農業まつりには、多くの市民の来場があり、農とのふれあいが図れた。	▼農業まつりには、多くの市民の来場があり、農とのふれあいが図れた。	▼農業まつりには、多くの市民の来場があり、農とのふれあいが図れた。	
事業種別	▼6部門の品評会を開催し、優秀な農産物を市民にPRすることができた。	▼6部門の品評会を開催し、優秀な農産物を市民にPRすることができた。	▼6部門の品評会を開催し、優秀な農産物を市民にPRすることができた。	
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	15,228			
子ども農業体験推進事業	▼親子で参加できる体験講座の親子ふれあい農園や農魚ブチ講座を開催する。 ▼小学校において農業者を講師に、農業体験の事業を行う。	▼親子で参加できる体験講座の親子ふれあい農園や農魚ブチ講座を開催する。 ▼小学校において農業者を講師に、農業体験の事業を行う。	▼親子で参加できる体験講座の親子ふれあい農園や農魚ブチ講座を開催する。 ▼小学校において農業者を講師に、農業体験の事業を行う。	▼親子で参加できる体験講座の親子ふれあい農園や農魚ブチ講座を開催する。 ▼小学校において農業者を講師に、農業体験の事業を行う。
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
生活環境部 経済観光課	▼親子ふれあい農園、農業ブチ講座を開催し、家族での農業への理解を深めていただいた。	▼親子ふれあい農園、農業ブチ講座を開催し、家族での農業への理解を深めていただいた。	▼親子ふれあい農園、農業ブチ講座を開催し、家族での農業への理解を深めていただいた。	
事業種別	▼小学校における、稲作やサツマイモ栽培を通じて、農業の大変さ、食の大切さを体験してもらえた。	▼小学校における、稲作やサツマイモ栽培を通じて、農業の大変さ、食の大切さを体験してもらえた。	▼小学校における、稲作やサツマイモ栽培を通じて、農業の大変さ、食の大切さを体験してもらえた。	
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	9,880			
市民農園維持管理事業	▼市民農園の維持管理 ・23農園	▼市民農園の維持管理 ・21農園	▼市民農園の維持管理 ・21農園	▼市民農園の維持管理 ・23農園
所管部署	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】
生活環境部 経済観光課	▼市民農園の維持管理（21農園） ・年度中に2農園が廃園となっている。	市の中央から東部地域にかけては市民農園に適した土地の貸し手が見つからず、反面、市の西部では空き区画が散見される状況にある。今後、市民ニーズの変化を見定めながら事業展開していく必要がある。	市の中央から東部地域にかけては市民農園に適した土地の貸し手が見つからず、反面、市の西部では空き区画が散見される状況にある。今後、市民ニーズの変化を見定めながら事業展開していく必要がある。	
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	24,108			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H28年度		H29年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 農業まつり運営事業	30		3,202,000	3,088,923	3,106,000	農業まつり、農産物品評会、農業振興褒賞式典の開催	B	1
2 市民農業大学運営事業	30		576,000	575,480	548,000	農業者を講師として、農産物の播種から収穫までの農業体験講座を実施する。	B	3
3 子ども農業体験推進事業	30		2,189,000	2,176,360	2,123,000	農業者を講師に、市内の小学生等に対して農業体験講座を実施する。	B	3
4 市民農園維持管理事業	30		7,198,000	6,230,095	6,910,000	市民農園の運営・管理	B	1
5 農業公園整備事業	30		7,323,000	4,595,400	0	農業公園の設置・開設に向けた整備等を行う。	A	
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			20,488,000	16,666,258	12,687,000			